



人財育成チーム『まなぶるNEWS』

44限目 2025年9月発行 発行責任者：渡部潔



今月の学習会報告 ～ 在宅医療室 編～

開催の経緯

8月14日に高齢者虐待防止・身体拘束適正化について学習会を開催しました。年1回以上研修会の実施が定められており、また2024年介護報酬改定により身体拘束適正化について改訂されているため実施しました。

学び

虐待と判断された例など読み合わせをおこないました。「仕方がない」「どうしようもない」とみなされて拘束をしていないか、身体拘束をせざるを得ない場合についても、本当に代替する方法はないのかを真剣に検討することが求められています。家族がいいと言ったからだけではすまされない。すべての人々には、自分自身の意思で自由に行動し生活する権利がある。身体拘束は、何よりも本人の尊厳を侵害する行為ということを改めて共有しました。

また、常日頃から職場内で話し合える環境を作っておくことが大切であること「あれっ」と思う日頃の気づき、違和感を声に出せる職場風土 話し合える組織づくりが、虐待を早期発見に繋げることだと学びました。



今回、非常勤の山口医師と山口医師の紹介で研修にいらしていたアメリカでプライマリヘルスケア診療をされている診療看護師

(NP) ラドンナ・ブラウンさんも参加し、意見交換をおこないました。コロナ禍の在宅医療について関心を持たれたようでした。素晴らしい出会いに感謝です！！

